



誰もが快適に暮らし続けることができるまちに！

4月21日「宗像版公共ライドシェア」実証運行開始

市では、新たな地域公共交通の取り組みとして、「宗像版公共ライドシェア」を4月21日（月）から岬地区で実証運行を開始します。

公共ライドシェアとは、自治体が運営し、指定された区域内をタクシーのように移動できる交通サービスです。運転は、タクシードライバーや国が定めた講習を受けたドライバーが担当し、安全性を確保しながら運行します。

本市の公共ライドシェアは、タクシー会社と連携し、遊休タクシーを活用するモデルであり、自治体が運営するライドシェアとしては珍しい取り組みとなります。

現在、地域公共交通を取り巻く環境は、人口減少や高齢化の進行により年々厳しさを増しています。特にバスやタクシーの運転手不足は深刻化しており、路線の維持が困難な状況に直面しています。この課題を解決し、誰もが快適に暮らし続けられる持続可能なまちづくりを実現するためには、地域公共交通の維持と再編が不可欠です。

「宗像版公共ライドシェア」は、タクシードライバーや講習を受けたドライバーの協力を得ることで、特に深刻化している運転手不足の解決を目指し、地域公共交通の維持に貢献するものです。

まずは岬地区において実証運行を開始し、運行状況や利用者のニーズを検証しながら、段階的に対象地域を拡大していく予定です。

本市では、市民の皆さまにとって便利で持続可能な地域公共交通を実現するため、今後さまざまな取り組みを進めてまいります。

実証運行に際し、4月19日（土）に「宗像版公共ライドシェア」の出発式を開催します。

【宗像版公共ライドシェア出発式 概要】

日 時：4月19日（土）13:00～

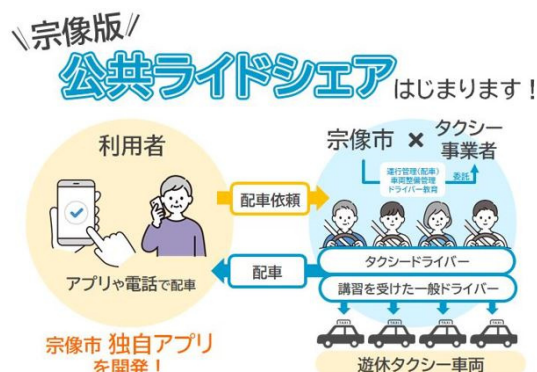
場 所：宗像市役所 正面玄関前

来賓者：九州運輸局長 原田 修吾氏

西日本鉄道株式会社

市内タクシー事業者 等

内 容：来賓挨拶、テープカット



【問い合わせ先】 ご取材いただける場合は事前にご連絡ください。

宗像市 都市再生部都市再生課（担当：平島、大内田）TEL:0940-36-9777